

第 48 回 日本 P T A 関東ブロック研究大会 茨城大会 参加報告書

富士市 P T A 連絡協議会
会 計 上野英樹

第 48 回日本 P T A 関東ブロック研究大会茨城大会に出席してきました。

『歴史と未来が息づく常陸国伝えたい願い 伝わる想い ～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～』をスローガンに掲げ茨城県ひたちなか市で 2 日間おこなわれました。

1 日目は第 8 分科会に参加いたしました。

研究テーマは『世界へのメッセージ ～わたしたちにできること～』 2 人の講師の方が講演をおこないました。

海外で活動をしている講師の先生が国際理解についてさまざまな視点から自身の体験をもとにいろいろな話をしてくださいました。

学ぶ機会の少ない国際理解ですが音楽を通して楽しく学ぶことができました。

外国の子供が増えてきているのでこれからの P T A 活動に活かしていけるのではないかと思います。今の子供たちのコミュニケーションのとりかたはメールや SNS などを通してとっていることが多くなっていると思います。

2 日目はひたちなか市総合運動公園総合体育館で行われた全大会に参加いたしました。

茨城県土浦市出身で東京大学先端科学技術センター教授の西成活裕氏の講演が行われました。

演題は「深い学び」と思考体力で普段あまりふれることのない分野の話聞くことができました。

数理解物理学、渋滞学など多くの研究をされておりとても興味深い講演でした。

昼寝は 12 分間がベスト、渋滞の電車は 1 本待つと空いている、アリは渋滞しない、混雑や渋滞を避けるために、人は 1 秒、アリは 2 秒空ける。

バケツリレーの理論、7 割の水量を運んだ方が早く運べる、30%を空けておく、これは仕事などなんにでも言えることであるとのことでした。

また、多段的思考を面倒くさがらずにできる人は成功する、長期的視野を身につける、多段的思考で好きなものを結び付け、将来の仕事を見つける、人からありがとうと言われるものがお金になる、効率一辺倒で最短距離を狙うのではなく、ゆとりを持って、時間をかけた方が最後は上に行くなど数学的物理学な視点からたくさん話を聞くことができました。

余裕をもって行動しまわりをよくみる、子育てにも同じことがいえるのではないかと思います。

とても有意義な二日間でした。